

大分市文化・芸術に関する 団体アンケート調査報告書

令和6年3月

目 次

■ 調査の概要 ■	1
■ 調査結果 ■	2

■ 調査の概要 ■

1 調査の目的

本調査は、文化・芸術に対する市民の関心度やニーズ等を把握し、今後の文化・芸術施策等を検討するための基礎資料とすることを目的として実施しました。

2 調査実施方法

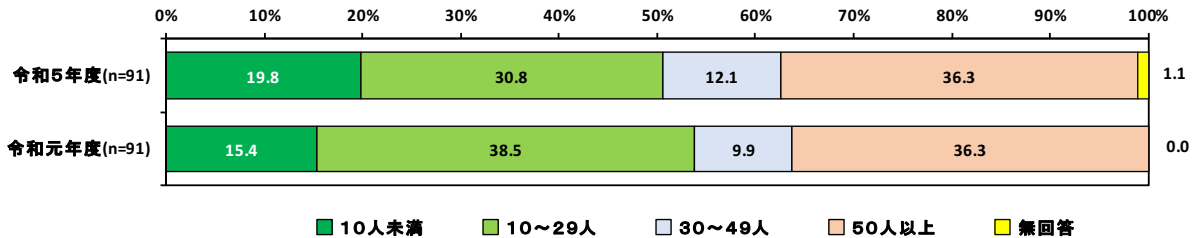
対象者	① NPO 法人 大分県芸術文化振興会議会員の内、大分市を主な活動の拠点とする 122 団体 ② 文化施設（J:COM ホルトホール大分、コンパルホール、平和市民公園能楽堂、アートプラザ）の利用団体 ③ 地区公民館（中央公民館を除く 12 館）の利用団体
調査方法	郵送調査法及び窓口配布
調査時期	令和 5 年 11 月 20 日～令和 5 年 12 月 15 日
配布・回収状況	配布数 245 回収数 91 回収率 37.1% ※回収率＝回収数÷配布数

3 調査結果の処理

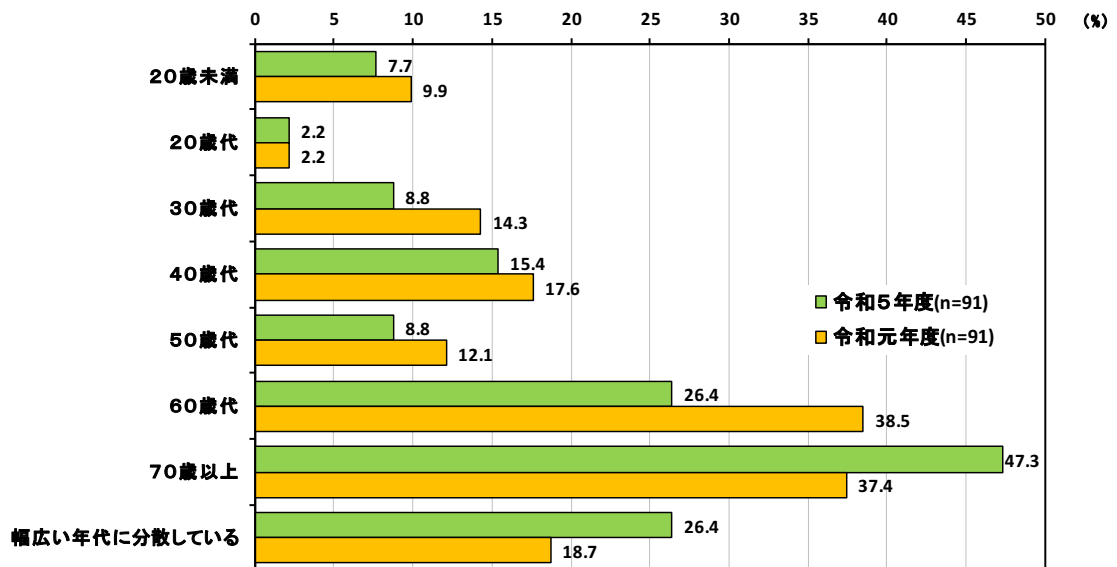
- 回答比率は、百分比のポイント以下 2 位を四捨五入していますので、合計は必ずしも 100% にならないことがあります。
- 2 つ以上の回答を求めた（複数回答）質問の場合、その回答比率の合計は原則として 100% を超えます。
- 図に表示された「n」は、回答者数を示しています。

■ 調査結果 ■

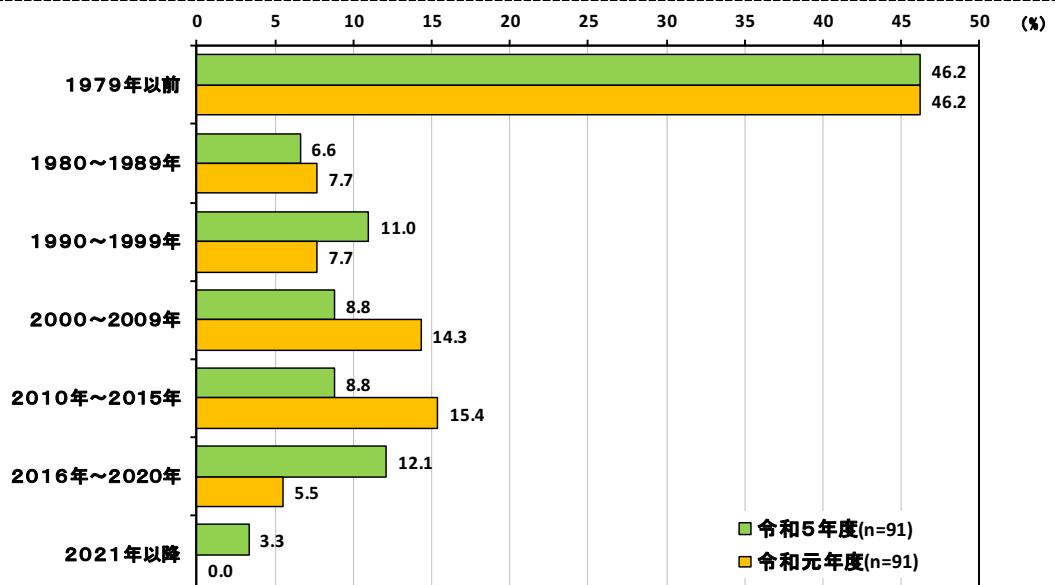
【設問2】 構成人数について、次の中からお選びください。(あてはまるもの1つに○)



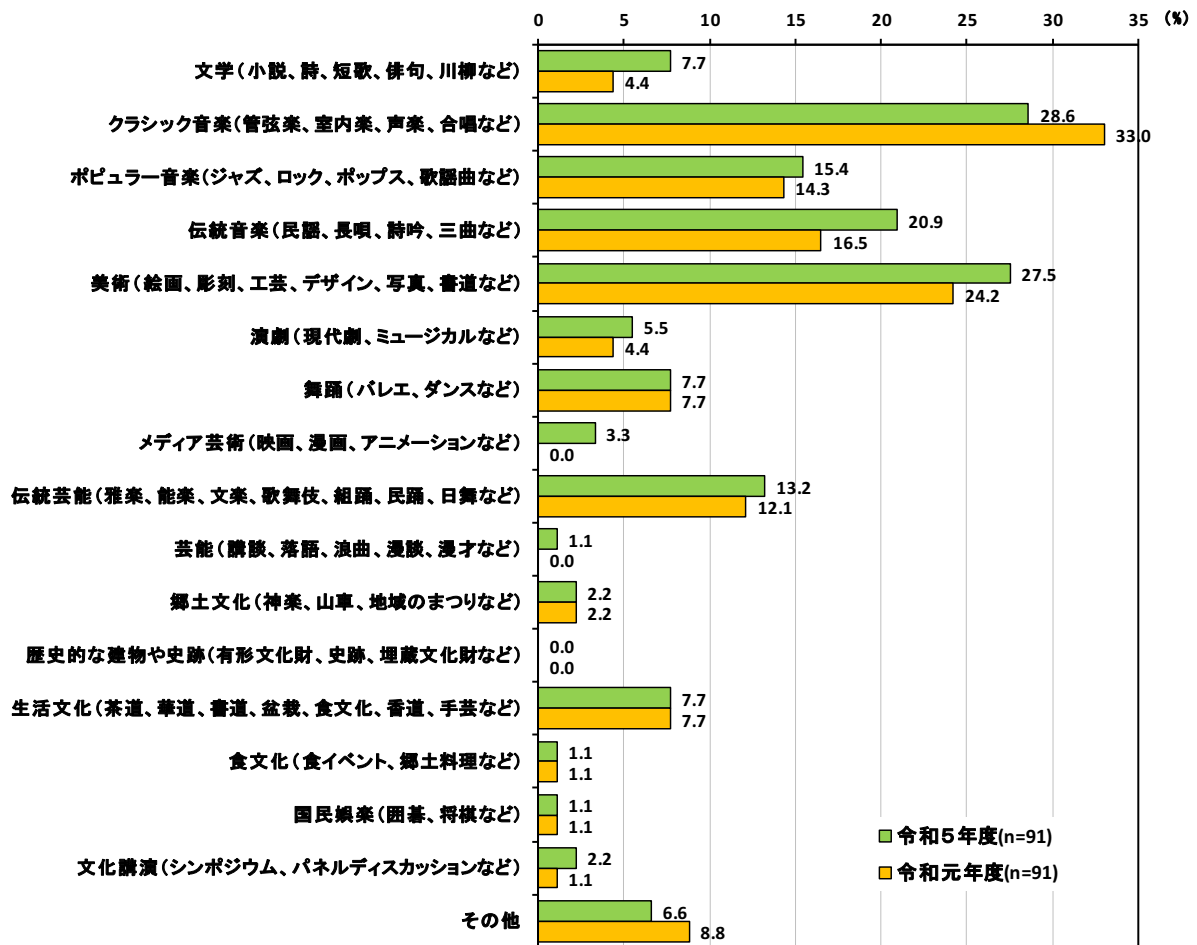
【設問3】 構成メンバーのうち多い年代について、次の中からお選びください。(上位2つまで○)



【設問4】 結成時期について、次の中からお選びください。(あてはまるもの1つに○)



【設問5】活動分野について、次の中からお選びください。(最大3つまで○)



【設問6】 練習、創作などの活動場所として主に利用している施設をお知らせください。

【公的な施設】

- ・コンパルホール(22) ・公民館(19) ・ホルトホール(15) ・南部公民館(9)
- ・いいちこ総合文化センター(7) ・能楽堂他(6) ・明治明野公民館(4) ・西部公民館(4)
- ・アートプラザ(2) ・オアシス地下(2) ・大分県立美術館(2) ・アイネス(会議)(以下)
- ・音の泉ホール ・寒田校区公民館 ・旧野津原中部小学校(廃校) ・芸文短大内施設
- ・県立学校 ・佐賀関市民センター ・佐賀関市民センター公民館 ・社会福祉法人 大分県光明寮
- ・大南公民館 ・大迫公民館 ・大分県立芸術文化短期大学 ・大分市・別府市の公営公民館
- ・大分市公共施設 ・津留公民館 ・鶴崎公民館 ・南大分小学校 ・別府市南部地区公民館
- ・別府市民会館 ・牧公民館 ・野口小学校 ・植田公民館

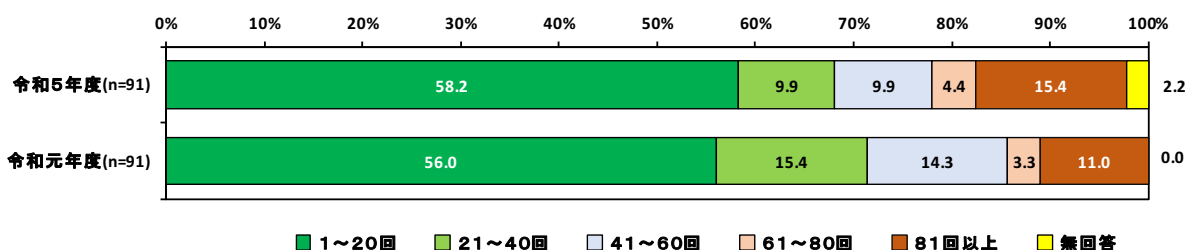
【民間の施設】

- ・いいちこ総合文化センター(2) ・BASARA ・コトブキヤ駅南店 ・コトブキヤ文具店(南店)
- ・スコア ・トキハ会館 ・ピアノレンタルスタジオ ・会員所有の音楽室 ・個人の家 ・公民館
- ・自宅 ・聖公幼稚園 ・大分市内のスタジオ等 ・地域の公民館等 ・別府市コミュニティホール

【その他の施設】

- ・自宅(9) ・教室(2) ・不二野座スタジオ ・大分県立芸術文化短期大学
- ・大分県整骨会館多目的ホール ・主催者音楽教室 ・後藤智江モダンダンススタジオ
- ・各会主の施設

【設問7】 1年間の活動回数について、次の中からお選びください。(あてはまるもの1つに○)



【設問8】 活動成果の発表の場所として主に利用している施設をお知らせください。

【公的な施設】

- ・ホルトホール(26) ・コンパルホール(23) ・いいちこ総合文化センター(16)
- ・大分県立美術館 OPAM(14) ・能楽堂(10) ・音の泉ホール(7) ・公民館(7) ・アートプラザ(3)
- ・学校(2) ・佐賀関市民センター(2) ・小学校(2) ・明治明野公民館(2) ・ビーコンプラザ(2)
- ・エイトピアおおの(以下1) ・各地区公民館 ・県下小中学校 ・県内12市の公的施設
- ・国立新美術館 ・市民センター内公民館 ・体育館 ・大分県立芸術文化短期大学
- ・地域の公民館 ・地区公民館 ・竹田市由学館 ・鶴崎公民館 ・福岡県立美術館
- ・別府市公会堂 ・別府市美術館 ・保育園 ・豊後大野市商工会 ・幼稚園

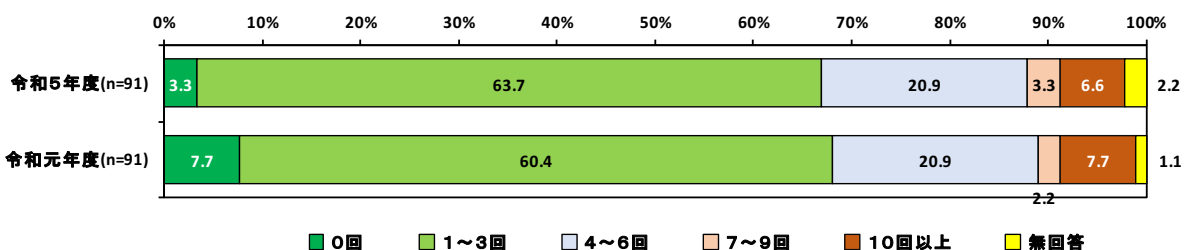
【民間の施設】

- ・いいちこ総合文化センターグランシアタ(4) ・音の泉ホール(2) ・イベント他(以下1)
- ・コトブキヤ文具店(南店) ・トキハ会館 ・ブリックブロック ・トキハ ・ルーテル教会
- ・レストランなど ・公民館 ・施設やイベント ・春日神社 ・浄慶寺 ・深田光霊記念詩聲館
- ・大分銀行明野支店ロビー ・大分県内の宴会場等 ・中九州アートミュージアム ・別府豊泉荘
- ・豊泉荘等ホテル

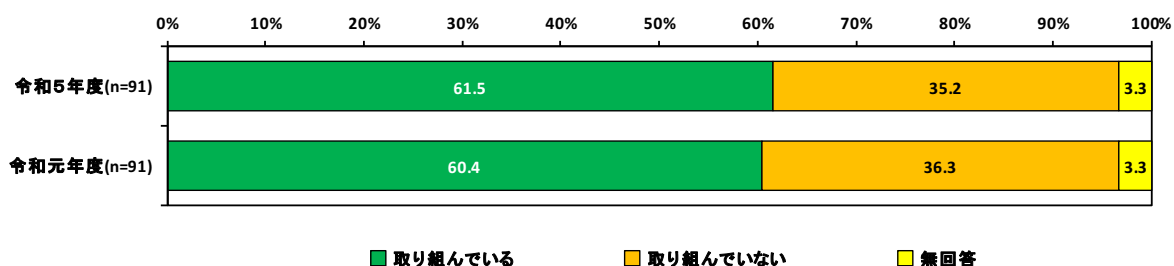
【その他の施設】

- ・大分県立芸術文化短期大学(2) ・オンライン(以下1) ・屋外 ・外国武漢
- ・各種イベント会場 ・亀陽泉ホール ・指導者の自宅 ・寺 ・地区の公民館 ・歩行者天国など
- ・野外 ・高齢者施設

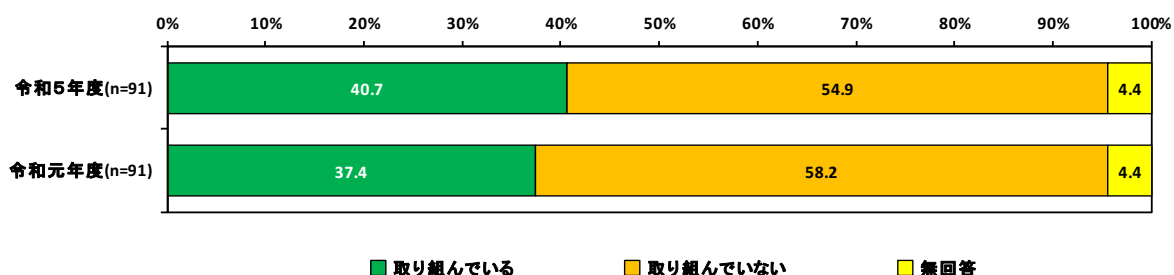
【設問9】 活動成果を市民等に発表する機会は年に何回程度ありますか。(あてはまるもの1つに○)



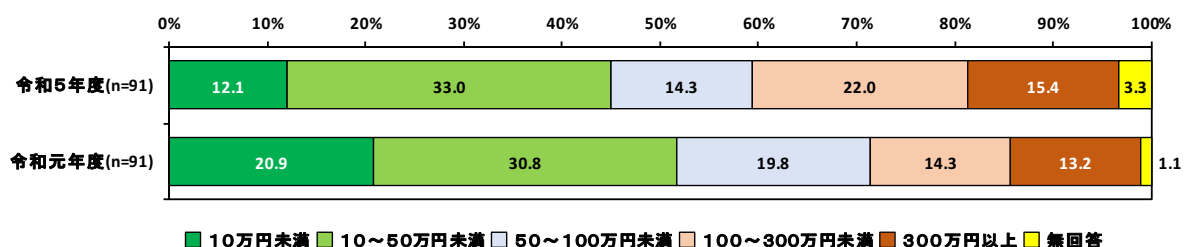
【設問10】 活動としてアウトリーチ(地域に出向いてミニコンサートなどを行う普及活動)に取り組んでいますか。



【設問11】 活動としてワークショップ(表現者や観客といった従来の枠組みを超えた参加者全員による共同作業)に取り組んでいますか。

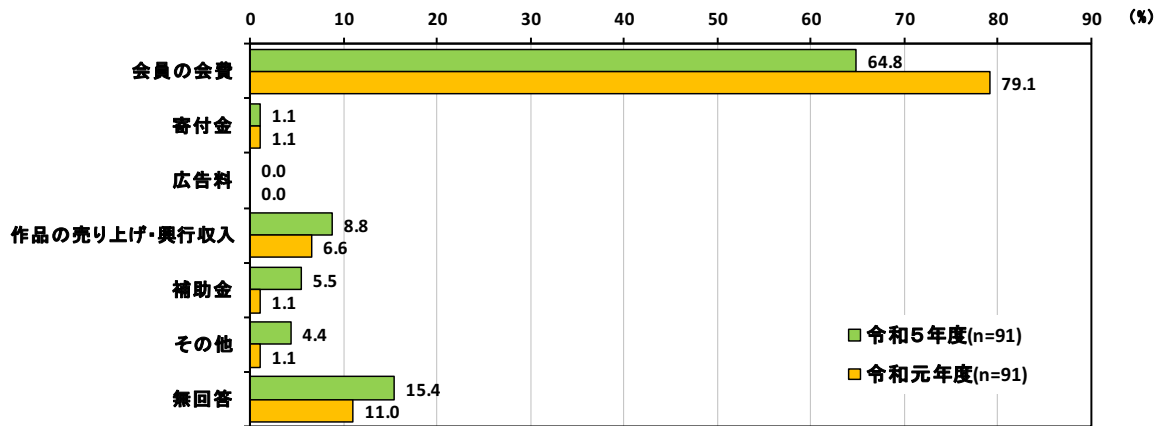


【設問12】 1年間の活動予算額を次からお選びください。(あてはまるもの1つに○)

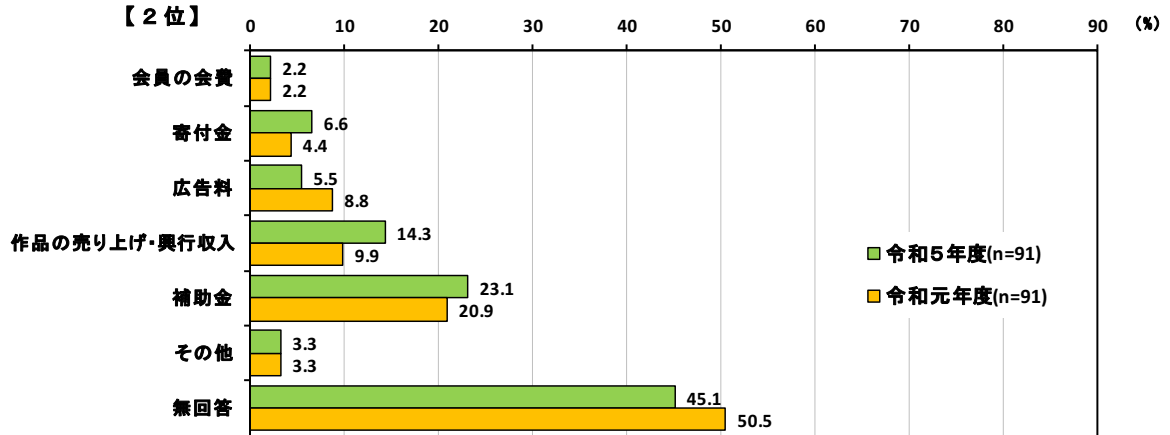


【設問13】 活動費の原資は何ですか。次からお選びください。

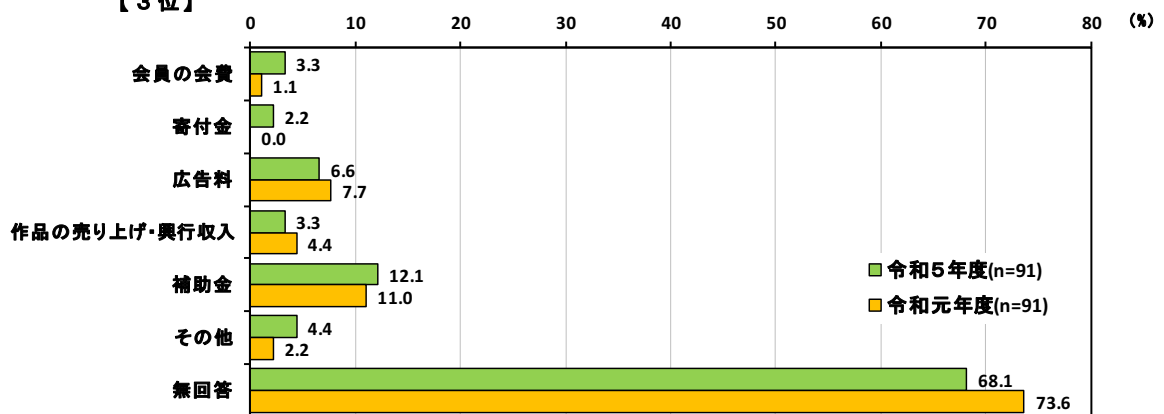
【1位】



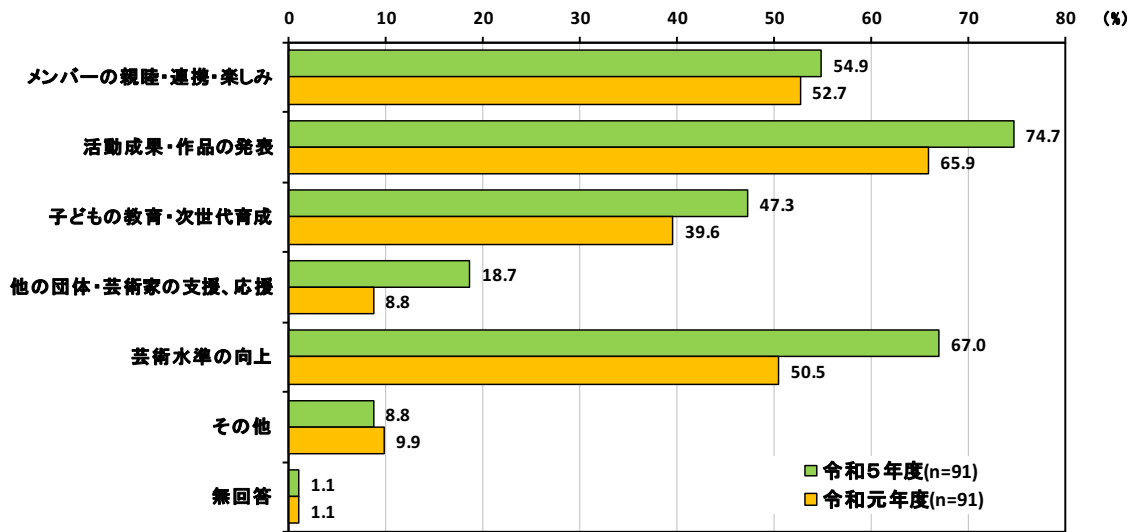
【2位】



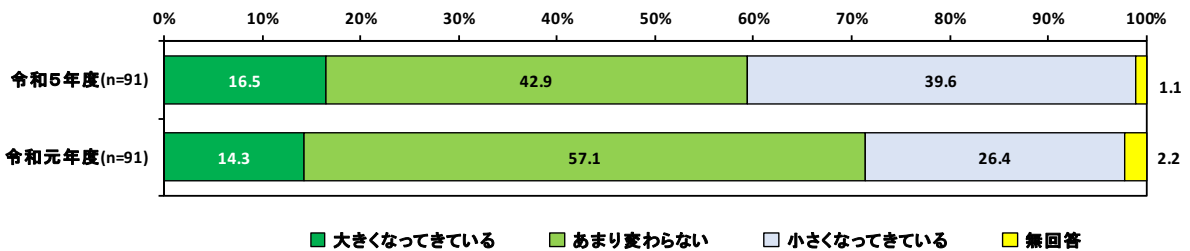
【3位】



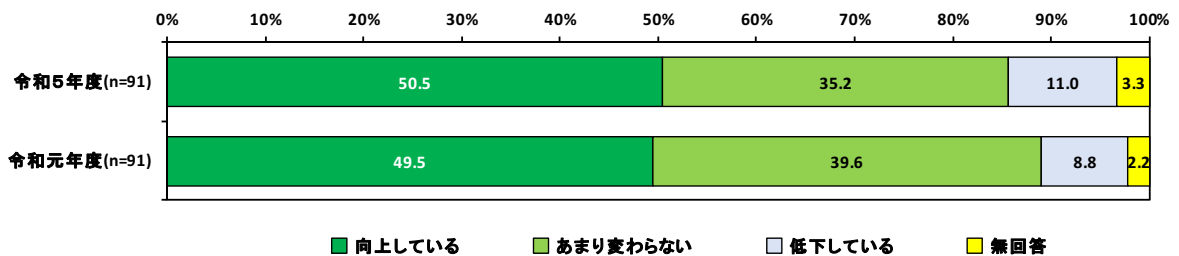
【設問 1 4】 活動目的を、次の中から選びください。(あてはまるもの全てに○)



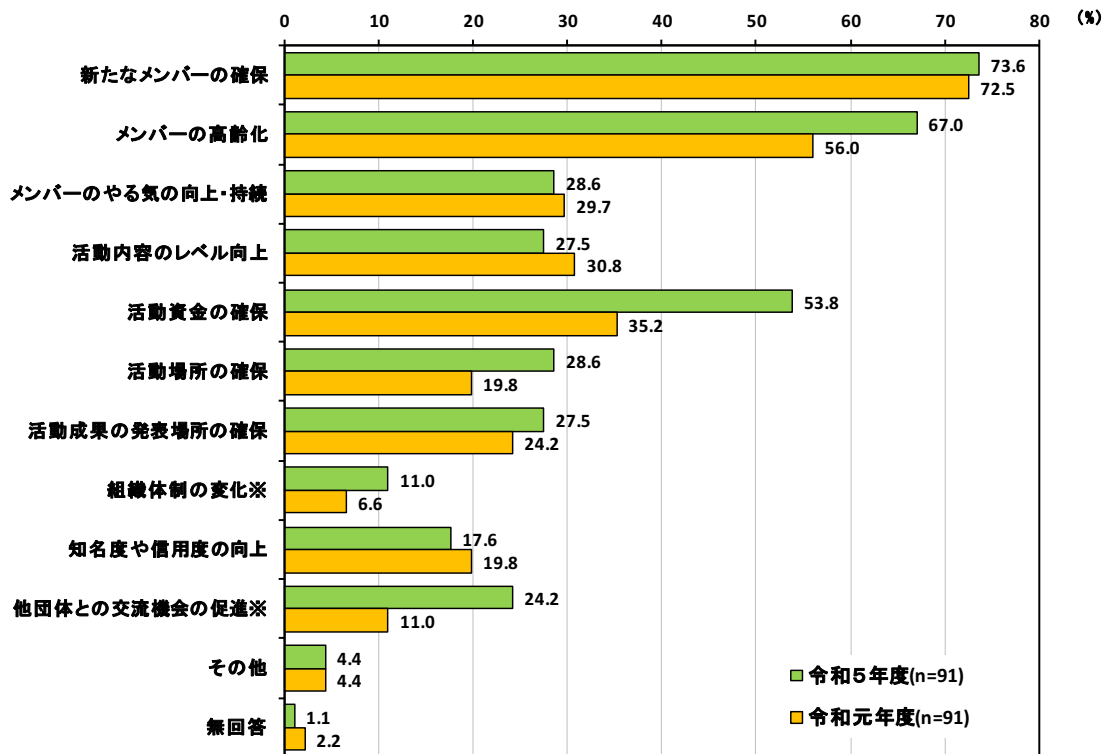
【設問 1 5】 活動規模の変化を次の中から選びください。(あてはまるもの1つに○)



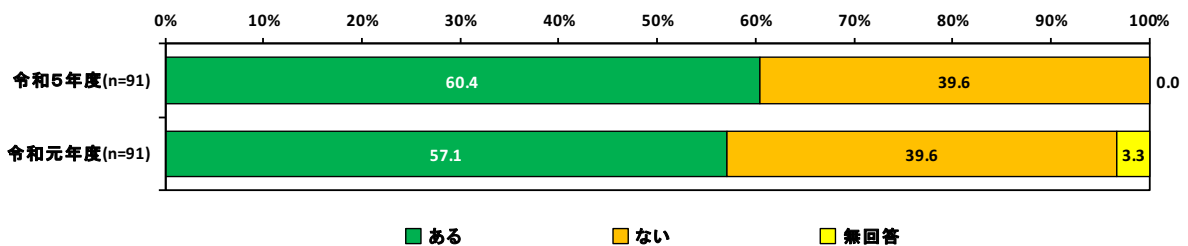
【設問 1 6】 活動内容・成果の変化を次の中から選びください。(あてはまるもの1つに○)



【設問17】 活動を行うにあたりどのような課題をお持ちですか。次の中からお選びください。(あてはまるもの全てに○)



【設問18】 貴団体が連携している団体（芸術団体、学校、大学、福祉団体など）や施設等がありますか。



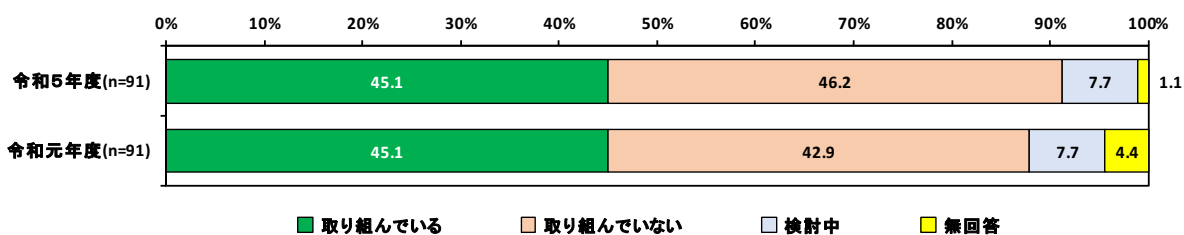
【連携している団体】

- 大分県俳句連盟→県下小中学校 公益社団法人俳句協会 伝統俳句協会 現代俳句協会 大分県社会福祉協議会
- 白日会大分支部→白日会
- 大分県民謡連盟→大分県芸術振興協会
- 能を楽しむ会→大分県立芸術短期大学 能楽堂
- ルミエール フルートアンサンブル→大分フルートオーケストラ
- 大分県文化団体連絡協議会(大分平和美術展)→NPO 法人大分県芸振
- 大分県歌人クラブ→日本歌人クラブ NPO 法人県芸振
- 大分の新女流書展→大分市立美術展 芸振 大分県立美術協会 毎日書道会

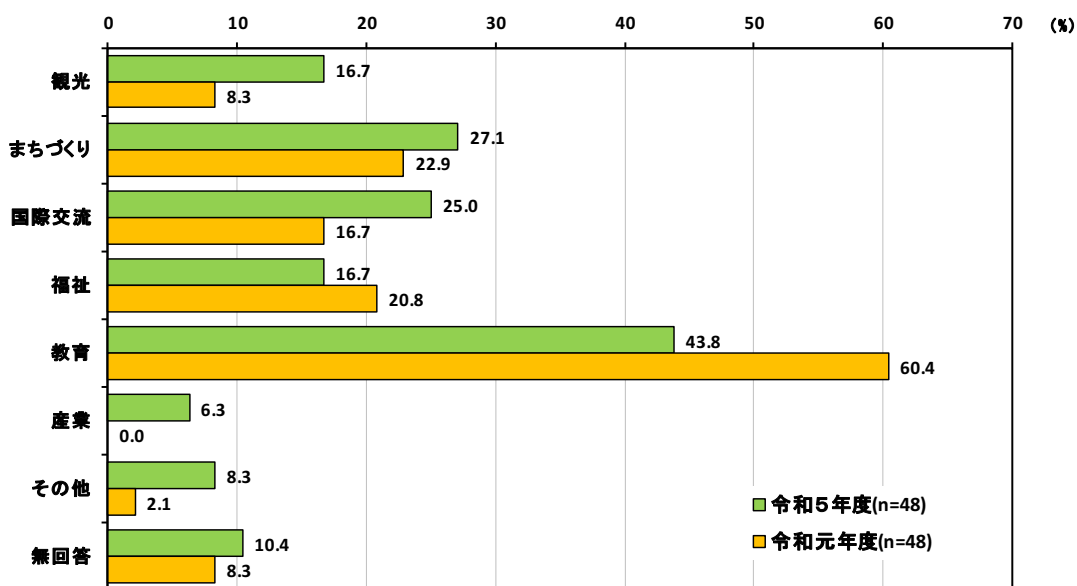
- NPO 法人 BEPPU PROJECT →別府大学 大分県立芸術短期大学
- 表千家同門会大分県支部→各高校茶道部 小学校茶道クラブ
- 大分県児童文化研究会→県芸術文化振興会議
- 大分交響楽団→大分県立芸文短大
- 日本民踊研究会九州支部→日本民踊研究会名古屋支部 全国各支部
- OITA エンタテインメント→エンタテインメント ダンススタジオシオナーズ NPO 法人 芸振
NPO 法人 大友氏顕彰会
- おおいたの里唄を唄い継ぐ会→地域の保存会
- 南大分小潮太鼓→豊後潮太鼓 南大分小学校
- 大分県番傘川柳連合会→日本川柳協会
- 大分県美術協会 日、洋、彫、工部→書道部 写真部 芸振 合同新聞社 教育委員会
- 貴美千佳の会→関の鯛釣り唄踊り保存会
- 二紀会 大分支部→二紀会
- 関の鯛釣り唄、踊り保存会→鶴崎踊り保存会 草地踊り保存会 扇子踊り保存会
- NPO 法人 遊鳳国際文化交流協会→湖北美術学院大学(中国) 紫雲山書画院(中国) 詩聲館竹
田市 中九州アートミュージアム
- 大分クラリネットアンサンブル→芸振
- 大分創元会→創元会
- 大分県長唄連盟→APU 立命館アジア太平洋大学 大分合同新聞社文化教室
- プリマクラッセ バレエスタジオ→芸術文化振興会議
- ゴールドバレエアカデミー→芸振
- 大分県民謡研究会 萬謡會→大分県民謡連盟 日本民謡協会 大分市 大分県芸振
- 合唱団 藍→NPO 法人 大分県芸振
- 秀絃会→APU サークル活動顧問
- アンサンブル みどりのそよ風→大分県芸振
- おおいたオペラカンパニー→芸振団体会員
- 大分県民謡連盟→大分県芸振 大分市教育委員会
- OMAP→大分県芸振
- 煌峰流吟詠会→三重文化協会 豊後大野市 社会福祉法人 大分県光明寮
- 後藤智江モダンダンススタジオ→おおいた洋舞連盟 大分県芸振 (社)現代舞踊協会
- 明彩会(水彩画)→大分県水彩画協会
- 大分県三曲協会 都山流大分県支部→都山流大分県支部
- 游の会→大分県三曲協会 都山流大分県支部
- 吟道関心流 大分県本部→地域の文化連盟 大分県民芸術振興会
- 大分県吹奏楽連盟→芸短大
- DEAR FRIENDS→大分県芸振
- 国画会(大分作家展)絵画部→NPO 法人大分県芸振 大分県美術協会 大分県民文化祭実行委員
会 大分合同新聞社 OBS・TOS OAB 各社
- 大分県中学校文化連盟→大分県芸振
- 情景ヲ奏デル→おおいたオペラカンパニー 大分二期会 大分芸術文化振興会議

- ・ 武蔵野音楽大学同窓会大分県支部→武蔵野音楽大学
- ・ 大分県立芸術文化短期大学美術科卒業生による「それぞれの今展」→芸振 大分県立芸術文化短期大学 大分県立芸術文化短期大学同窓会
- ・ 鶴崎詩道会→日本詩道会
- ・ 歌帖社(短歌結社)→大分県歌人クラブ 大分合同新聞文化教室
- ・ →別府市社会教育関係団体
- ・ 大分県能楽連盟→大分県立芸術文化短期大学
- ・ 大分県高等学校文化連盟→宣告高文連 大分県芸振 九州高文連 大分県高体連
- ・ 劇団 不二野座→大分大学演劇部
- ・ 大分市民合唱団ウイステリア・コール→大分県合唱連盟(所属)
- ・ 大分県立芸術文化短期大学→大分県立芸術文化スポーツ振興財団 大分県立芸術緑が丘高校 大分県芸術文化振興会議

【設問19】貴団体では、文化・芸術の振興にとどまらない、観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業その他関連分野との連携を図る取り組みをしていますか。



【設問19】①、③を選択された場合の分野、活動内容をご記入ください。

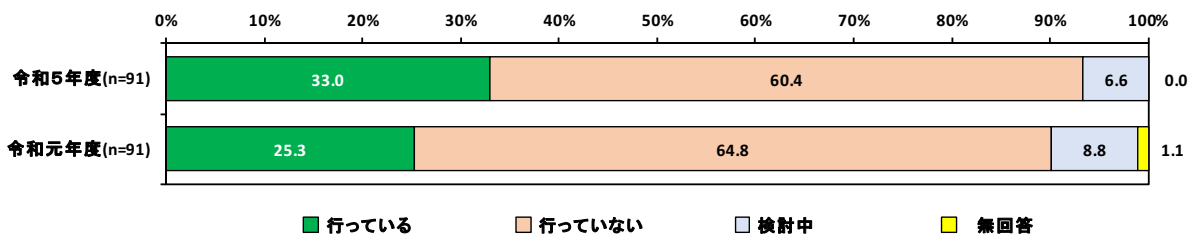


【活動分野の具体的な内容】

- 2019 プラハの在チェコ日本大使館でミニコンサート。現地愛好家と交流。大分チェコ友好協会の訪問団の依頼を受け。
- プロジェクト ONICO マスタークラス ジュニアオーケストラ
- 佐賀関ふるさとまつり等への参加、協力 高齢者施設への慰問等。
- APU の邦楽サークル指導。小学校での授業。県や市の事業ではなく個人で行っている授業である。
- R5 年度はうすき蓮畑、杵築市立図書館、聾学校でのアウトリーチ活動。
- ウクライナの方々との交流
- まちづくり協議会が主催する催しに出場する。
- 温泉被災地(湯平)新たな民謡制作。各地民謡発掘とまちづくり。
- 過去に武漢市への訪問と交流を行った。
- 海外より芸術家を招聘し国際交流イベントを行った。芸術文化交流を通じ、草の根の日中友好交流、お互いの芸術の向上。市民の理解や文化による豊かな心の生活を目指して活動している。
- 外国の方が能楽堂を見学に来た時、能衣装を着せてあげ喜ばれている。能楽堂子ども教室を 20 年間務め 300 人くらいの子供達を育成した。
- 観光地を、ことある毎に詩吟で紹介するようにしている。福祉法人大分県光明寮の方に各イベント参加して頂き、地域に生き生きしている姿を知ってもらっている。
- 教育とまでは言えないが、県下の小・中学生との音楽を通しての活動、ふれあいを楽しみに活動しています。
- 近隣の高校の鑑賞授業の一環として。
- 行事への小・中・高への参加の働きかけ
- 作品を通して平和について考える合評会を開催。
- 姉妹都市での公演、イベント。
- 児童、園児を対象に読み聞かせ人形劇等、公演のため訪問している。
- 大学、留学生との交流、サークル等。
- 大分ちきりん大会出演。毎年別府納涼音頭大会出演 50 年連続出演で表彰を受ける 3 年前。温泉祭り。各公民館文化祭毎年出演(南部北部)。
- 大分フルートオーケストラと連携し、フルート愛好家(学生含む)の発表と勉強の場を作っています。
- 大分芸術文化振興会議主催、文化キャラバンにて県内 3 地域の小学校にて公演を行った。
- 大分県芸術文化活動産業活用へ登録
- 大分県民謡大賞大会(コンクール大会)県外から出演者。盆踊り大会。
- 大分市伝統芸能ふれあい教室の実施。大分県文化キャラバン事業の実施。
- 地域のイベント出演
- 中国武漢市の女流書家との書展。大分での武漢女流書家との書展。ワークショップを通じて大字書、篆刻、色紙、絵馬等指導。展覧会に大分高校、岩田高校鑑賞。
- 日出町のイベント行事への参加演奏。書道の会での演奏。
- 文化キャラバン(小中学校での訪問演奏)クリニックなど。
- 文化キャラバンにて小中学校に訪問している。

- 別府市のイベント、ベップ・アート・マンスに参加、個展などを行った。別府、大分市内のオフィスビル、カフェ、料理店などに作品提供している
- 豊の国ねりんピックの参加
- 要請により公共機関と茶席を設けるなどしている。市町村の行事に茶席で参加している。
- 立命館アジア太平洋大学国際生にて、日本伝統芸能歌舞伎音楽、長唄、三味線を教え、国際生により各国に発信している。また大分県内一円にて活動を行っている。

【設問 20】 貴団体では、異分野の団体との交流（コラボレーション事業等を含む）を目的とした事業や活動を行っていますか。



【事業・活動の内容】

- インキュベーションマネージャー、イノベーションマネージャーを務める大分大学経済学部非常勤講師の仲介で、他業種の方々と交流し、意見交換、親睦を行っている。
- ピアノ、バイオリン、オーボエドラム、オペラなど洋楽との共演2年前と去年。今年もある団体が、民謡とバイオリン、オーボエで好評でした。
- ポピュラーミュージシャンをゲストに迎えて公演を行った。
- マリンバやピアノとのコラボレーションを演奏依頼がある時にしている。
- 機会があれば合唱団体と共演を行ってきた。2023年12月には大分第九を歌う会との計画中である。
- 県内のダンススタジオメンバーとのコラボにて作品創作。
- 合同新聞社での作品展示。
- 詩吟にあわせてバレエを踊ってもらった。2~3回。太極拳を詩吟にあわせてもらった。2~3回
- 詩吟の文化施設で日中の絵画展を行った。中九州アートミュージアムで、日本古来の南画と中国現代作家作品の展示(日中文化交流展)を12月5日より開催します。
- 自治会、アイドルユニット、ピアニスト
- 若宮八幡宮への絵馬奉納。めじろん立体型ケーキのデザイン制作、おおいた光のファンタジー、サービスラーニングで他多数。
- 書道(桜)と日舞、書道と茶道、華道(国民文化祭)ホルトホール。
- 書道とバレエのコラボ、バレエとベリーダンスとのコラボ、コンテンポラリーとバレエのコラボ。
- 書道と舞踊のコラボ、楽器生演奏のコラボ、朗読劇の一部に。華道とのコラボ。
- 書道やバレエとコラボした舞台公演を行った。
- 設問18の団体と毎年持ち回りで四社中競演を行っている。
- 大分県内の歴史文学の発展について、今後ねりんピック等を通して交流を行って行きたい。

- 地域文化協会団体と公演。まちづくり協会団体と交流
- 筑前琵琶、書道教室、カラオケ、生花、民謡、歌謡曲とのコラボを行った。
- 長唄連盟とのコラボ、芸短音楽科とのコラボ。
- 津軽三味線団体と合同の演奏会の開催。
- 伝統文化で共通した能楽や日本舞踊等とコラボを実施。
- 日舞やフルート等、洋楽器とのコラボを作った。
- 能楽と西洋音楽(芸短大音楽部)のコラボ「羽衣」「平和のシンボルムッチャん」を能舞と西洋音楽とでコラボ。
- 舞や朗読とのコラボを行った。演劇とのコラボも行う予定。
- 舞台美術でアーティストとコラボ。
- 民舞団体との合同舞台。クラシック音楽とのコラボ。
- 洋舞と日舞、チェロ、合唱などコラボした舞台公演に参加した(芸術祭参加行事)。
- 来年の県美術協会 60 周年記念行事として、日本画、洋画、彫刻、工芸、書道、写真の作品を一堂に展示した特別展を開催する予定である。これまではそれぞれで開催し一堂に会する行事はしていない。
- 和楽器アンサンブル息吹+大分県民連盟とのコラボレーション(東アジア文化交流)。昔から唄われている大分県民謡に和楽器アンサンブル息吹の洋を取り入れた和と洋のコラボした舞台公演を行った。

【設問 2 1】 今後、団体としてどのような点に力を入れて活動を行っていきたいとお考えですか。ご意見を自由にご記入ください。

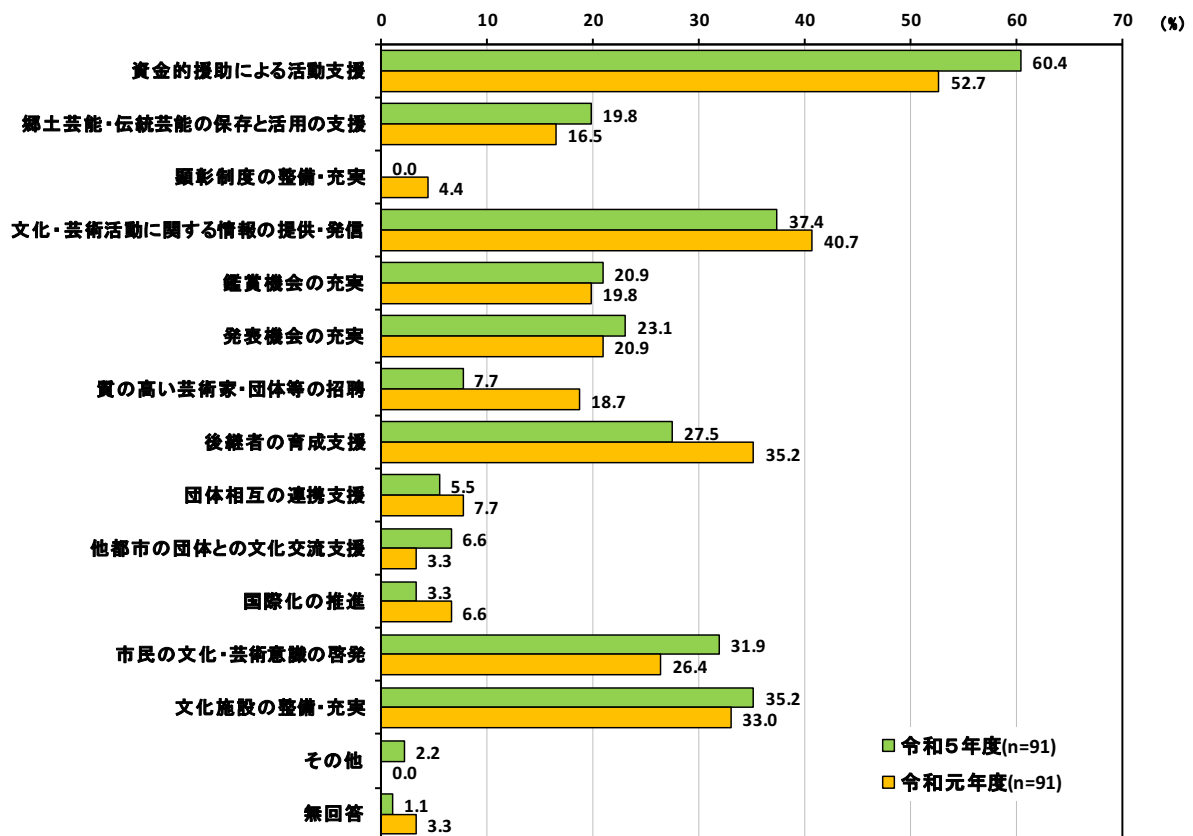
- 3年前のようなラグビー世界大会等の大きなイベントがあれば、大分県の民踊、舞踊など出演したい。関の鯛釣り唄、別府音頭、温泉踊り、荒城の月、日田こつこつ節 etc いい民謡がたくさんあります。毎年名古屋の発表会には必ず大分県の民踊(謡)を一つ出します。今年は宇佐のケンチャン節です。
- 6,7年前、豊後の国王と題し県内の各団体と演劇、オペラ、詩吟、洋舞、舞踊、長唄などと共演した。最高の盛り上がりでした。このような舞台をまた再現したいと思います。大変な好評でしたが、それきりになっている事が寂しい。
- アーティストの力を生かした子育て支援、教育分野。アーティストの作品の販売。
- クラリネットの魅力を発信したい。
- これまで通り演奏会活動と、それに備える日々の練習。
- これまで同様、創作作品発表を続ける。幼児ら中学生が、より自由に感性を磨き、個性豊かな人間作りができるようお手伝いしたい。
- コロナで、どこも美術団体の会員が減ってきている。活動や収入等やインターネットで若い世代は発表しているが、どこの会にも属さない場合が増えていると思う。だからこそ、リアルな発表の場の良さを感じてもらえたらと思い活動しています。
- フルートの魅力を広く発信できるよう、イベント等で演奏を行い知名度を挙げていきたい。
- メンバーの確保と若返り。芸術水準のレベルアップ、展覧会、研修会の充実。

- メンバーの活動継続による健康維持。メンタルヘルスの向上。いつまでも働ける体作り。
- メンバーの多くが中央展でも大分でもしっかりと書の自己表現をし、女性のリーダー的存在のメンバーを育てる輝く命をつないで。
- メンバーの連携を高め、作品のレベルを上げる。書道だけにとどまらず、芸術関係、若い人のアイデアで地域を盛り上げたい。
- もっと子ども達に、伝統文化である日本舞踊を知って頂き踊って欲しい。そのために料金は頂かない。着物などは私どもで用意しています。
- リタイヤされた方等の人生の楽しみを、写真を通して再度生きる意欲を共有していきたい。
- 唄、踊り、三味線、子ども等の減少傾向に伴う後継者の育成、発掘。打開策として地域外にも人材を求めていく等を検討。会員相互の連携は維持。
- 演劇という人の五感を鍛えられるものを老若男女に触れてほしい。市民劇団などの活動をしたいが難しい。資金、場所、人。
- 演劇鑑賞人口の増加。
- 華道の布教活動、異分野とのコラボ、音楽と花。
- 会が発足されて 25 年になりますが、だんだん高齢化になり、続けていけるかわかりません。もっと若い方に連句や俳句に興味を持ってもらいたいです。全国の連句仲間と交流して、リモート連句会など広げて関心を持ってもらいたと思っています。
- 会の継続をどうするか。少子高齢化に対してどうするか。吟力の向上。
- 皆さんに楽しんで頂けるよう継続していきたい。
- 各自のレベルの向上、会員の増加。若い人の加入。
- 各人の研鑽と向上。長唄(唄と三味線)の継承。
- 各地で唄い継がれている唄を発掘し保存と魅力紹介していく。
- 楽しんで下さる皆様と、音楽を楽しむ会を行っていきたくと思っています。参加できる音楽会、体験する楽しさを伝えていきたい。子ども達に音楽の素晴らしさを知ってもらうために、音楽授業の補助などこれまで以上に行って行きたいです。
- 企業との連携。
- 芸短大の非常勤講師をしているので、能楽と西洋音楽のコラボをしていきたい。夢は新作「大友宗麟」の新作能を西洋音楽とコラボしたい。
- 芸能等の文化を次の時代への継承を続けて行くこと。
- 現状維持できるように、若い人達を育てていくことを目標の一つとして県美展を運営していく。
- 後進の育成、作品の質的向上、他団体との連携、美術展に対する啓発活動などを推進していきたい。
- 高校生や若い方に参加して頂きたいので、今後は何かしらの活動をしたい。
- 高齢化と共に人数が少なくなっている事。
- 高齢化と共に活動も少なくなっていますが、団員の健康と親睦。そして、生徒達や高齢者とのふれあいを大切に活動を続けて行きたいと思っています。
- 高齢化に伴う会員の減少が最大のテーマ。初心者向けの川柳教室等を通して、この問題に対処していきたい。
- 参加者の人数が増加すること。
- 参加人数を増し、作品のレベルを向上させたい。

- 資金調達のための補助金等の知識。
- 次世代の育成。
- 次世代の合奏集団への継承。
- 次代を担う若者の育成。高齢者の生きがいとなる活動。芸術文化の推進。
- 若い会員さんレベルを上げて、指導者に早くなってもらいたい。若い指導者に若い会員が集まると思います。
- 若い後継者を育てたい。
- 若者の入会、育成。
- 出品数の回復、若い作家が加入。
- 小・中学生に日本舞踊を知ってもらい、気軽に経験して頂きたい。
- 少子高齢化に対して会員の減少を防ぐ。
- 新しい作品(芸術・文化を主に発表しています)に向けて発表のための制作準備・活動を目指したい。我々の団体は、文学、音楽そして絵画を取り入れた活動のため、絵の作家の方々へ新しい作品を依頼したい。
- 新型コロナのため停止している。高齢者施設での演奏活動を1日も早く再開したい。
- 生の文化活動を子どもの目の前で演ずる事で、お互いに感動を共有する事を目的としています。私達も元気ももらっています。
- 組織維持のための声かけ行動 高齢化、人口減少、働き方改革により若い人の入会が極めて少ない。また、ネット社会で若い人は組織に縛られないという意識があり、団体への加入がない。会員が減れば会費収入が少なくなり、活動もしぼんでしまう可能性あり。いかに加入者を増やすか。
- 存在感のある詩吟を若い世代に繋いで、未来に伝えて行きたい。
- 多くの方に観てもらって体験して頂きたい。
- 大分での公演にて、他ジャンルのコラボレーション企画が増えてきていると感じているので、当団体でも何かできないか考えている。
- 大分で芸術が身近な物になるように活動したいです。いつでも本物の舞台が観られる大分になれることを目指しています。
- 大分は自然の緑が美しく、海や川、温泉もきれいです。それらをテーマに国際交流文化展を開き、自然豊かな大分のイメージを発信し観光に繋がります。また、現在の中国には残っていないお寺や神社などの伝統的な日本建築の寺社をギャラリーとして展示することで、日本建築と緑の素晴らしさを海外に発信し、地域の活性化に繋がっていきたいです。
- 大分県内の舞台芸術とそれを目指す若者の育成。
- 大分県民謡発掘、発表の継続。後継者(若手)発掘のため諸策と育成。
- 短歌のジュニア人口を増やしたい。投稿短歌にジュニア欄を設け大会でもジュニア賞を設けている。短歌の若手人口を増やしたい。高齢者が最後まで続けられる生きがいとするためのサポート(大会で90歳以上を表彰)
- 地域の文化祭に出品を広げていきたい。町内の知り合いに見られるのが恥ずかしいので、匿名にしたいと思う方が多い。多くの方と知り合い、引き込まない老後を過ごせるようにしたい。
- 地唄箏曲の中でも、古典物を中心に活動している。この分野にあまり触れたことのない人達に、気軽に聴き楽しんでもらえるようなライブ活動を行っているので、これを継続していきたい。古典の良さ、面白さを伝えて行きたい。

- 茶の湯文化をもっと広く皆さんに知って頂き、生活に深く関係している事を感じて頂けるよう、お茶会、市民講座、体験教室などを企画していきたい。
- 伝統音楽の次世代への継承。
- 伝統芸能継承を目的とした新規会員の加入促進事業。持続可能な連盟の課題は、組織力、資金力につきる。
- 当団体は15周年を迎えますが、まだまだ知名度は低いのではないかと思います。今後ともレベル向上を心がけ、広くその存在を知ってもらうよう努めます。
- 日本伝統芸能を海外に紹介。
- 年1回の加盟団体8団体によるコンサートを行い、マンドリン音楽の魅力を多くの人々に伝えていく。
- 年に1回ではなく、なるべく多くの機会を作って演奏できる機会を増やしたい。
- 年齢を問わず会員の確保を図りたい。
- 発表の場をもとにして会員の親睦、芸の向上を目指す。
- 普及活動。新しい音楽の創造。
- 幅広い年齢層、県内各地区在住の会員の交流、音楽活動の充実化。若い世代が大学卒業後、大分に帰って活動できるような魅力ある環境作り。活性化。
- 余暇の時間を生かし、老後の生きがい作りに役立てる。

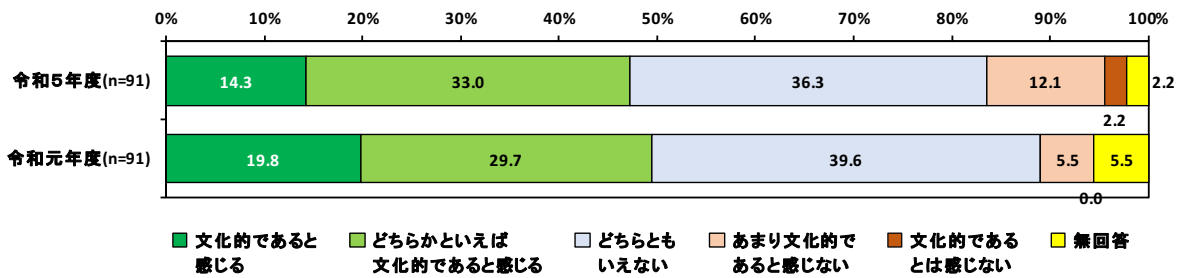
【設問22】 団体活動の活発化のために、行政や民間が行うものとして何が大切だとお考えでしょうか。次の中からお選びください。(最大3つまで○)



【文化施設の整備・充実の内容】

- 100人キャパのホール。
- 500人程度収容、かつステージはホルトホール。
- 500名ぐらいの音楽対象を念頭に置いた設備のホール。新設が難しい場合備品ピアノを新しくしてほしい。
- アートプラザを展示施設として、もう少し魅力のある物にしてほしい。
- ギャラリー展ができる場所がほしい。
- コンパルホールのトイレが洋式が少ない。
- コンパルホールの洋式トイレ設置。
- ノーバリアフリー
- ホルトホールのような200～300人ぐらいのホール。
- 以前、社会福祉会館で高齢者の教室があったが、今はなくなっている。資金が足りない？
- 雨などの日に、搬入作品を守れる搬入口の広い施設がほしい。
- 音が出せる練習施設。
- 音響効果の優れた小規模ホール。
- 交通の便が良い。駐車料金が安い。公共機関でも行きやすい所。使用料が安い。
- 合唱、吹奏楽等の音楽練習施設の充実。
- 佐賀関の支所とホールが一体化の施設が東部に全くない。
- 市民が気軽に使用できる施設。勉強会や研究等で常時開かれているもの。
- 質の高い芸術家等の招聘と、地方大分で活動している団体への支援のバランスを考える。
- 実績のある団体について施設利用の優遇など。
- 収容人数300人程度で、楽屋設備も整った小規模ホール。
- 多目的ホールではなく、音楽や演劇など特化した施設を熱望。
- 多様な人数に対応した広さの施設。プロジェクター対応施設。
- 大分市民の使用料は割引をしてもらいたい。県外の興行には割高でいいのでは。
- 中央部に室内運動施設が少ない。
- 美術館の展示用具の充実。
- 舞台設備の整った小～中劇場。
- 練習スペースの充実。練習スタジオ、会館のようなもの。
- 練習やりハーサルのできる施設を多く作ってほしい。
- 練習会場、発表会場(駐車場の広さ、机、椅子、換気)

【設問 2 3】大分市を「文化的なまち」と感じますか。次の中からお選びください。（あてはまるもの 1 つに○）また、①、②または④、⑤を選択された場合、その理由もご記入ください。



【文化的と感じる理由】

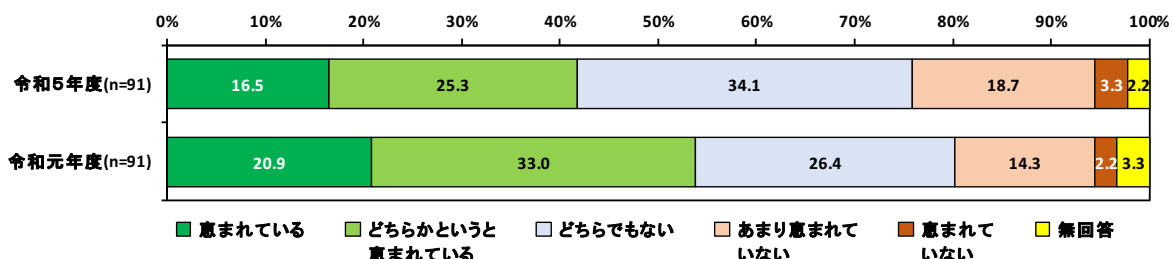
- JAZZ バンドはそこそこ多い。
- アルゲリッチや滝廉太郎。以前は園田先生のコンクール等開催されて、日本だけでなく海外、世界に向けて発信できている。
- イベントが多い。
- おおいた夢色音楽プロジェクト、ふるさとコンサートなど積極的な活動を行っている。
- ホールも多いし、イベントも多く開催されている。
- 演奏会や演劇がたくさん開催されている。芸術のイベントが多い。街中に彫刻がたくさんある。
- 音楽イベントがあると思うが、より多くのもともと興味のなかった人々をターゲットにした催しをしてほしい。したい。
- 音楽イベントが街中である。
- 芸術に対して好意的であると思います。のびのび活動できる自由度は高いと感じています。感謝しています。
- 県民芸術祭の継続には感謝しております。
- 公民館等施設があり、市長賞も出してくれている。
- 国民文化祭も 2 回、アジア文化祭等活発な活動をした。
- 催しやイベントから。
- 市美術館、アートプラザ、ホルトホール、コンパルホール等発表の施設。研修、会議等の施設が整備されている。
- 市美術館は大分の誇れる文化施設であり、市民に開かれた運営がなされている。
- 施設が立派で多い。
- 児童館等、児童を対象とした文化施設がほしい。
- 場所により、そうである部分と、そうでない部分が混在しており、②を選んだ。
- 大分駅徒歩圏内に、素晴らしいコンサートホールが 2 つもあること。芸術文化を志す若手育成のための教育機関、または大学(高校含め)が存在し、元気に学生が育っていること。西洋音楽発祥の地であること。滝廉太郎生誕の地であること。県民は中学生で学校音楽の時間にそれを学びます。それはとも良い誇りとなって、意識に定着している気が致します。
- 大分市に充実した美術館がある。

- 地方は今ひとつの感ありですが、大分市の場合は、県が邦楽等々に取り組んで頂いているパワーを感じています。
- 南蛮文化発祥の地と宣言しているため。
- 美術、音楽、舞踊、演劇、伝統芸能それぞれが活発に活動できる環境が整っている方だと思います。ただ、文化的な街に住む人の教育が考えられるとよりよいと思います。
- 美術館あたりを見ると強く感じます。駅前ザビエル像。
- 美術館が県、市と2つもあるのに人が入っていない。企画的にも小さい。パンフレット等作成に工夫を。県団体の物。市美術館は素晴らしいが交通が不便。市報に短歌欄がほしい。
- 美術館が多く活動に力を入れていると思います。
- 美術協会に所属する会員数や、各美術芸術団体は比較的多いと思う。作品展の発表も年間通して多い。
- 文化芸術に関するイベントが多い。活動者も多い。美術館が充実している。
- 文化芸術に関するイベントが多く気軽に参加できる。
- 文化芸術に関するイベント等が少ないとは言えない。
- 文化芸術に関する行事やイベントが充実している。
- 文化芸術に関する催しやイベントが多い。
- 文化芸術に関する催しやイベントが多いと感じる。
- 文化施設の充実。文化施設が充実している。
- 夢色等イベントが定着。
- 様々な県の支援を受けた公演に出演してきたが、文化的水準支援は充実しているように感じるが、それが県内で活動する人に還元されているかという疑問を感じる。
- 緑が丘高校などの学校がある事で、大分はレベルが高いと感じている。

【文化的と感じない理由】

- アマチュアの発表の場は多いが、プロの発表の場が少ないため。
- スポーツ系(健康体操)には関心があるようですが、文化面では劣っているように感じます。
- 音楽活動ができる施設スタジオが少ない。大きな音を出せる場が少ない。
- 催しや支援が偏っている。
- 市のトップ、文化課のトップの文化に対する熱意を感じられない。文化都市であることへの誇りを持って取り組んで頂きたい。
- 市内地域により格差が見られ、スポーツの方が活発な印象がある。
- 消極的だと感じます。
- 他県に10年過ごしておりましたが、県民の意識の高さが異なり、それに伴い投資される予算も少ないと思います。同じくらいの人口数で。
- 能楽の祭典のチケット売りが大変。90%「能を楽しむ会」で売っている。市報等でPRして、能楽堂があるので教室やイベント月を紹介してほしい。宝の持ち腐れにならないようPRしてほしい。
- 美術館に行く方が少ない気がします。
- 部門によっては文化的と感じる面はあるが、全体として文化的と言えるだろうか疑問である。広報活動が大きいとよいかも。
- 文化芸術に関する催しやイベントが少ない。特に演劇。

【設問 2 4】 大分市は文化・芸術を発表できる場や機会に恵まれていると思いますか。(あてはまるもの1つに○) また、①、②または④、⑤を選択された場合、その理由もご記入ください。



【恵まれていると思う理由】

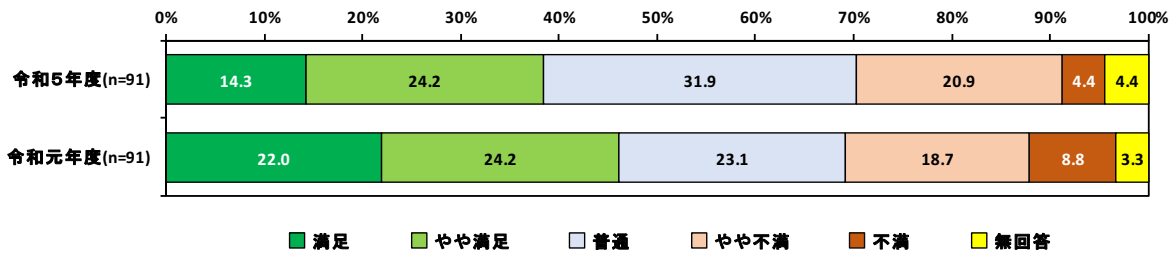
- 100人程度の小規模ホールがあるとよい。
- OPAM、いいちこグランシアタ、ホルトホール、文化芸術を発表する場が多いため。
- アートプラザ、ホルトホール、大分美術館、コンパルホールとあるが、やはり狭い(展示する所)。少し古いし、ワークショップする広い場所もほしい。中途半端な広さ、面積ではないでしょうか。
- アートプラザがもう少し魅力ある施設になればありがたい。
- コロナ前は良いバランスで、老いも若きもその機会に恵まれていたと思いますが、教育の現場から文化活動が制限されたり、民間団体でも活動が縮小されたりが続きました。
- ホールもある程度の数はあるので恵まれているが、すべてのジャンルに取って使いやすいように考慮した多目的ホールは、結局、すべての団体に使いにくい場合が多いので、今後の課題。
- ホールも大・中・小イベントのできる広場も整っている方です。大分市の中心部のみか。季節毎の基本計画を。
- ホルトホールは駅に近いので、お客様は利用しやすいと思います。
- ホルトホール開館により、文化芸術を発表する場が増えた。文化施設の利用料が高い。
- 音響の良い小規模ホール(100～)がほしい。
- 会場が中心にあるので行きやすい。
- 開館により場所は増えたが、設備やピアノの状況は改善できる事は力を入れて頂きたい。
- 各施設の使用等、行政の理解が得られやすい。
- 県立、市立美術館、アートプラザ等作品発表の場がある。
- 県立美術館、アートプラザ、ホルトホールなど発表機会の場所に恵まれている。
- 県立美術館や大分市美術館が、わりと新しくきれい。
- 市内中心部にはホールが充実していると思う。練習室の数をより充実させてほしい。
- 市美術館の美術展は出品しやすい。落選なく超大作があり楽しみ。
- 施設が整備されている。
- 施設が必要な時、使用できる。
- 自分達の書道展ができるから。
- 場所ホールやライブハウス他が多い。
- 人口に対して箱物の数は足りている。

- 大分県民文化祭もあり、補助金や情報発信できるので励みになる。
- 大分県立芸術文化短期大学があるため。
- 大分市美術館、大分県立美術館がある。
- 発表あるいは作品を観る会場が充実している。
- 発表の場としての美術館を毎年利用できている。現在は県立であるが。
- 発表会の会場が多い。他都市に比べて。使用料が安ければなおよい。
- 美術館もこちらのホルトホールもあるから。
- 野津原等の活用
- 利用に適した会場が最適ではない場合がある。換気、広さ、椅子、テーブル不足。
- 植田公民館で児童対象とした「お話どんどん」を、公民館主体の行事として毎年取り組んでくれており、活動しやすい。

【恵まれていないと思う理由】

- ホールが少ない。
- ホルトホールは予約が取れない。劇場費の他、チケット代の 30 人分必要というのが理解できない。
- リハーサル場が少ないので、会場が借りにくい。
- 音楽に関しては「夢色音楽祭」などがある。演劇イベントはないのでは。もっと発信してほしい。
- 会場に偏りがあり音楽活動には良いが、舞踊鑑賞には適さない。
- 会場費が高いので、あまり発表できない。美術館は高い。
- 学生に対する会場使用料の免除がない。
- 具体的には設問 27 にて。
- 佐賀関市民センター集会室は、舞台が円形なので使用しにくい。
- 市中心部でホールが少なく、予約が取れない。
- 小ホールが少ない。
- 設問 25 の回答と同じ。
- 大きなホールしかなく、伝統音楽を生で聴いてもらえる中・小規模施設がない。また、音を出す事を嫌がる施設も多い。
- 発表する場が少ない。
- 文化施設の使用料が高額である。
- 文化施設の予約が取りづらく、なかなか発表に結びつかない。
- 邦楽演奏会用の場所がない。楽屋を含め。
- 利用費が高い。駐車スペースが狭い。
- 利用料がもっと低くなることを希望します。
- 練習会場不足

【設問 2 5】大分市の文化施設の利用環境はいかがですか。(あてはまるもの 1 つに○)



【満足している理由】

《コンパルホール、ホルトホール》

- 研修室がたくさんあり、きれいだし使いやすいです。
- とても素敵な建物で充実している。図書館や運動施設、練習室。
- 施設は駅に近く使いやすいが、文化活動の入口がない。

《コンパルホール》

- 会議でよく利用するが、何の支障もなく予約ができている。時々申込期日が遅れると希望の会場が取れない。
- 舞台袖がなく、山台等を使用する場合不便である。他の施設については満足である。
- 公民館 会議のための場所を提供してくれる。
- 施設の方々はよくケアして下さいます。集会室は畳の部屋です。高齢化で足の悪い方が多く、畳の部屋に腰掛けを入れる場合、畳に傷が付かないよう使用側で厚紙を準備しなければなりません。施設側でカバーか何か用意できないでしょうか。

《ホルトホール》

- 個人で川柳教室が自由に開かれるし、料金も手頃、規制もなくありがたい。
- 交通アクセス良好。商業施設に近い。駐車場完備。
- 職員の方々の対応が良かった。
- 必要な時までには利用できる。

《能楽堂》

- いつも閉館時間まで利用しています。職員さんの対応可に感心しています。気持ちよく利用させて頂いています。
- 予約が取りやすいが、ネット申し込みできるようにしてほしい。
- 設備は上質。スタッフの対応は格別に良いと思う。

《アートプラザ》

- スタッフの方はいつも丁寧に対応して下さいありがたい。駅から少し遠い。元々が観覧会施設ではないので天井が低い。磯崎さんの建物で観覧会できる事は幸せ。
- 場所的に利用しやすい。職員さんが丁寧に説明してくれる。照明が少し古いので、絵全体(大作の場合)に照明が当たらないので改善してほしい。

《その他》

- コンパルホール、能楽堂 茶道の特殊な仕様に対しても柔軟な対応をしてもらっている。
- OPAM 広くて美術館という素晴らしい建物がある。他県にも負けない良さがある。
- いいちこ音の泉ホール(すみません。こちらは県の施設でした) グランシアタもですが、本当に素晴らしいホールだと思いますが、使用の際、価格面で(民間の団体にも)少し補助等のチャンスを頂けたらありがたいです。コンパルホールの1階のホワイエですが、アップライトピアノを置いて頂けたら、コンサート等の使用が広がると思います。
- 県立美術館 二紀展の開催に協力的である。
- 公民館など 予約もスムーズで練習場所は確保しやすいと思います。少し大きい施設は予約が取りにくいので②とさせて頂きます。
- 公民館西部 駐車スペースが足りずイベントが開催できない。
- 一般的に施設の皆様の対応が親切で丁寧でありがたく感じます。
- 大分県立美術館 3階Bの会場の照明をもう少し明るくしてほしい。
- 大分市南部公民館 エレベーター、エスカレーターがないです。終了時刻が22時の場合、22時には外に出ていないといけません。

【普通の理由】

《ホルトホール》

- アクセスが良い。しかし、年々駐車場が少なくなっている。近隣の駐車場を充実してほしい。
- 駅が近いので集まりやすい。駐車場が広い。駐車料金が高い。
- 楽屋が不足していて、1団体個人でのイベントではいいが、いろんな団体と交流して開催する場合は楽屋が少なくて大変困る。
- 利用料が高い。
- ホルトホールのスタジオを定期的継続的に使わせて頂いていますが、入替時間の設定がないためギリギリの時間まで使用できなかつたり、使い始めの時間が不安定になってしまいます。1時間単位ではなく、50~55分単位とした方が使いやすいのではないかと思います。

《コンパルホール、ホルトホール》

- 使いきれていない(使用者側)

《その他》

- 各劇場によりそれぞれ難点はある。
- 各公民館 演劇の稽古に適した部屋が少ない。学校教育にダンスが入ったために、子どものダンスチームも増え、なかなか借りることができない。
- 客席数が少ない。響き(音響)の良いホールが音の泉しかない。多目的が多すぎる。
- 県立美術館 日展が呼べる会場がもう一つあっても良いのではいつも思うが、OPAMの確保が難しい。展覧会場としては狭いし、天井も低く暗い。もっとモダンで明るく、大作も飾れる天井の高さ、大きなグループ展、社中展ができる展覧会場がほしい。
- 佐賀関市民センター 何故、舞台が円形なのでしょう。
- 大分音の泉ホール 文化会館で何十年と発表会を行っていましたがなくなり、音の泉ホールに変えて、今回、工事等で別府の公会堂に変更しました。会場は小さいが、駐車場(60台分)があり、

駅に近い理由で皆さん喜ばれている。

- 大分県立美術館 OPAM 他市内の美術館 搬出入口が小さすぎるので、搬出入作業に時間配分が他団体と重なり行き詰まりを感じる。
- 大分市美術館 能楽堂 学生が行く場合、施設前までバスの便が良くない。能楽堂は駐車場が不足。
- 大分市内公民館 公民館を利用する機会が多い事もあり、環境が特に良いとか悪いとかは特に感じず、普通と思っている。
- 地区公民館 空調代が時期で決められていること。利用していないのに空調代を払わなければならない。また、利用したい時に利用できないなど。

【満足していない理由】

《コンパルホール》

- 冷暖房費が高い。設備の老朽化。
- ホールのトイレ環境が古い。お客様から不満の声が出ています。
- 1階文化ホール カワイのグランドピアノを使用(置いて)して頂きありがとうございます。カワイの催事をおかげさまで使う事ができています。カワイのグランドピアノも古くなってきているので買い換えて頂きたい。ホールの中に立看板のコロコロの付いた移動式パネルや、オルガンの横に置いている入れないためのポールなど、コンサートや発表会使用の際に共同の物ではなく、ホール専用において頂けるとありがたい。椅子 etc きれいになって嬉しいです。

《ホルトホール》

- グランシアタは芸振加入の方には割引があるが、市のホルトホールには市外の方の使用と市人の差別がない。市税を納めているのと、納めてない方には差があってしかりと思う。
- ホール本番使用中に照明、音響担当の職員が不在で心細く思う事がある。
- 使用料が高い。場所(会場)の確保が困難。
- 誓約が多すぎる。ホール設備機器の使用料が煩雑である。事前にある程度の金額がわかれば助かる。
- 利用料が高額である。管理やシステムが利用者に周知されない。
- 会場使用料の振込期限が短い。会場のキャンセル後、振り込んだ金額が一切返金されない。
- ホルトホール(大ホール)客席の出入りが不便。
- ホルトホール大ホール 演劇する時に音が聞きづらい列がある。キャパ 1201 席はどういう意図で。

《ホルトホール・コンパルホール》

- ホールの音響も、もう少しよいと嬉しいです。
- もう少し音響がよいと嬉しいです。
- 申請書を電子にしてほしい。手書きは少なく面倒です。
- 声、音を出せる部屋が少ない。ない(練習会場)。机、椅子が足りない。部屋しかない。

《アートプラザ》

- 作品を展示する時に、ライトの明るさや暗さがバラバラで、作品の色の見え方も変化するの

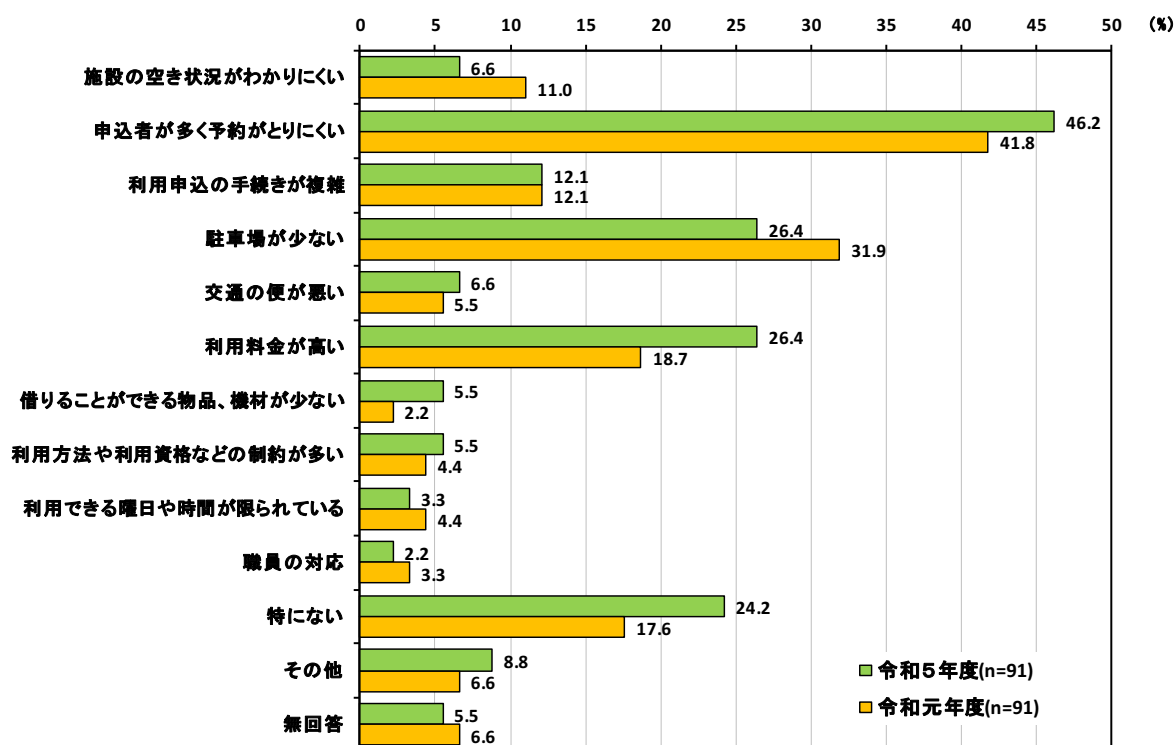
で酷いと思う。

- 料金が高くもう少し安くしてもらいたい。照明が暗い。

《その他》

- ホルトホール、コンパルホール、能楽堂、大分市内公民館 予約が取りにくい。2～3ヶ月前だと予定が立てられない。
- 20～30人程度の人数が練習できる施設が少なく、また、利用希望者も多いため、なかなか確保できない。利用できても駐車場料金の負担がある。
- 西部公民館、ピアノが体育施設にしかなく、ピアノとともに練習する場所がない。多目的室にピアノがほしい。現在の電子ピアノは不適切。
- 大分市南部公民館 会場の予約が取りにくい。バスなどで行くには不便(免許返納後)。会場使用料が安いのは助かる。

【設問26】 大分市の文化施設を利用するに当たり、特に問題となっていることはありますか。(最大3つまで○)



【設問27】 最後に、ご意見・ご要望等がございましたら、自由にお書きください。

- 「大友宗麟」新作能と洋楽のコラボを創作したいと思うが、資金面が心配。とても取り組めない。良い方法はないでしょうか。公益財団法人、大分市文化振興財団、文化庁、県芸術文化振興財団と連携。大分市教育委員会等方法はないでしょうか。
- アンケートを採って、それが役に立っているのか知りたい。

- アンケートを採る企画は素晴らしいが、これの結果はいつ発表して、将来に希望が持てるのか。結論を出してほしいです。展覧会が年間 10~20 ある(中央展もある)。そのための錬成会をするのだが、会場、特に集会室(体育館)が取りにくい。会場取りの責任者はじゃんけんが強いので心強いのですが、これ(この方法)が正しいとは思えません。何とかして下さい。
- アンケート対象が大分市であるが、常時使用しているのが県立美術館ということもあって、その話になってしまった。市の施設は、会議にコンパル、ホルトホールを使用(年に数回)なので特に困っている事はない。県美協 50 周年記念美術展の時のように、市と県が手を取り合ってイベントができると、さらに大きな事ができて活性化すると思います。テリトリーにこだわらず、市民、県民の為に協力して文化を育てて下さい。
- いつも私達演奏家に寄り添って頂きありがとうございます。
- いつも利用させて頂いて助かっています。椅子など改善して頂いて、ホールもきれいになって嬉しいです。共通で借りられる備品以外にホール専用いくつか置いて頂けると、準備などの際も受付まで行かずにできるので、お願いできたら嬉しいです。よろしくお願いします。
- このようなアンケートを実施なさること自体が、まず素晴らしいと思います。是非、結果とそれに踏まえた対策、これからの大分市の文化芸術、市民の皆さんのよりよい生活に向けたビジョンをご共有頂けると嬉しいです。
- これまで以上に音楽の楽しさを味わって頂けるよう、質の高い演奏にこだわり努力していきたいと思っています。
- コロナ禍で劇団は疲弊しています。劇団あつての鑑賞会です。まずは鑑賞人口を増やして行きたいと考え活動しています。九州では演劇鑑賞団体が 18 団体ありますが、大分は人口比で行くと格段に低いです。もっと関心を寄せてもらいたいと思います。
- コンパルホールや公民館が、WEB で予約できることは大変助かっています。毎年、年間数回利用させて頂いています。今後ともよろしくお願い致します。
- コンパルホールを利用することがありますが、駐車料金に関して長時間となる事から、研修室を利用する場合は配慮して頂きたい。施設利用した場合のエアコン代についてももう少し安くなるよう考えてもらいたい。展覧会に関して市報等に発信して頂きたい。アートプラザを利用させて頂いておりますが、駐車場の面は良いですが、研修室の数を増やしてほしい。
- 演劇については、各劇団の団員数が少なく、広いホールでの公演は不可能である。100 人くらいのキャパ、ホルト小ホールがよいが、2,3 年前からでなくては週末は取れないのが現状。芸術祭は大変感謝しているが、大分市民劇団などを作って永続的な活動を支援して下さいとありがたい。外国の方、身障者の方など少しでも興味を持った人達が、キャスト、スタッフ等を学び年に 1 回程度の発表ができるとよいのではないのでしょうか。昔、遠藤周作氏の素人オペラが実現しましたが、市長も出演する等。とにかく演劇という素晴らしいものに多くの方々が参加できるように、そんな支援も考えて頂けましたら幸いです。
- 演劇分野をどのように広めていくかが課題。オペラ、日舞他のものよりも芸術性は低い。大きな公演を行うにあたり、関東の有名人を優先で、大分で活動している演劇関係者には役者、スタッフ少なめ待遇がおざなりである。
- 音楽的な楽器を使用する場合、「音」を出しては悪いという理由で使用できる施設が少ない。
- 会場費を支払後、会場使用日の少なくとも 6 ヶ月以前より前に中止をした場合は、返却する事をされたらと思う。

- ホルトホール使用の団体関係者の駐車スペースとして、市保育園の駐車場(日曜日のみ)を数台分使用させてはどうかと思う。
- 学校等でバレエに触れる機会や、観る機会があれば嬉しく思います。
- 芸術会館がどうなっているのか。両会場として今後の事が知りたい。ホールが少ないと思う。
- 芸振の団体で定期的に大きな公演を行ってほしいです。招聘も大切とは思いますが、大きな事業がある時に、外部から招くより芸振団体をまとめ上げ、レベルの高い公演を作り上げることが大切だと思います。そのため、リーダー育成も必要かも知れません。
- 今後とも利用させていただきますので、何卒よろしく願い申しあげます。
- 今後も、大分県民謡の発掘と定着に向けて取り組んでいきます。どうぞご支援、ご協力をお願い致します。各種取組に当団体として協力させていただきます。
- 再来年の国民文化祭が長崎県です。連句大会は長崎県の福江市が担当になっているようです。九州として日本連句協会からお手伝いして下さいという事なので、大分県連句協会が協力しようと思っています。そのため、来年は日田市とかで連句大会を開催したいと思っています
- 市には立派な美術館やホールがあるが、ソフト面(市の芸術週間や芸術祭などイベント等)に不十分さを感じる事がある。
- 市の国際交流イベントに対する資金援助がもっとあれば助かります。
- 私どもグループは大分県芸振の団体会員であり、私自身(代表)は芸新の理事を務めていることから、県の情報はある程度把握していますが、大分市の制度等については知らない事が多いように感じます。例えば、活動の場の提供、活動資金の補助など。
- 室内イベントを考えても、まず、室内施設が少ないため、また、高額なため施設探しはいつも困難に思っています。学校、公的館で空いている部屋の貸し出しができるように。
- 趣味は高齢化対策である。趣味のできる事は人生に余裕があり、平和であるからである。現代の世界は対立を越して戦争しているのが現実で、それも国の独裁者の考え方で戦争をしている。国民はたまったものではない。日本人である事に感謝し、社会主義でなく民主主義の日本が続くことを願っている。外国が日本を占領すれば、言語も占領国の物が標準語となり、日本文化もなくなってしまうことを危惧しています。言いたいことも言えなくなり、思想の自由もなくなるのではないかと。マスコミ、一部国民が行政が悪い、国の政治が悪いと簡単に批判しますが、それならおまえが100%の事をやってみろと腹を立てている今日です。
- 少子高齢化対策が、芸術文化面でも遅れている。芸振等のパンフレットもごちゃごちゃして見づらい。人口減少、予算等を考えると致し方ないと思いますが、誰でも親しめるすっきりしたものに。郵送も一考を。これは県美術館のもの。総じて市の管轄のものは、県のものより充実していると思います。
- 多目的ではなく、本当に日本の伝統芸能のためだけに使える施設が望ましい。
- 大きなホールが借りにくく、イベントをする時に苦労します。
- 大きな演奏会を開催すると、1年前から準備は始めている。しかし、施設の予約が2~3ヶ月前からなので、練習日程を立てづらく困っている。しかも抽選。特に和室で音を出せるところが少ない。伝統音楽を大切にしていくという姿勢が全くみられない。公民館等で定期的にサークル活動をしたいが、楽器の保管を断られるのでできない。箏の場合楽器が大きいので、その都度5-10面持って行くのは無理なので諦めざるを得ない。保管場所(倉庫 etc)を設けてほしい。
- 大都市との文化格差(観る機会、観る力、聴く機会、聴く力)が小さくなるとよいかなと思います。

邦楽を聴く機会が少ないので、良い演奏会に触れる機会も少なく、特に小さいお子様方には高度な技術や演奏会に触れさせてあげたいと思います。邦楽の楽屋にはできたら畳のお部屋が相応しいのですが、多目的ホールが多く使用しづらく思う事がよくあります。そして、大きなホールより、中・小のホールが欲しく思っています。担当の皆様には文化は幅広く大変だと思いますが、このようなアンケートをして下さっただけでもありがたく存じます。

- 大分チキリン大会。チキリンサンバ大変疲れる。できれば鶴崎踊り、左衛門等も踊りたい。
- 大分県は、緑ヶ丘高校があり、若い内から美術・芸術が学べる事もあり、とてもレベルが高いと思います(全国的に)。若い人達にも頑張ってもらいたいと思う。うちの会では芸振からの補助金が出ているが、前の年に会場予約して会場費を早く払うと、次の補助金の対象にならないなどの事が起きている。どうしたらよいものかと、今後相談に行くつもりです。
- 大分県内で活動する団体に対して、大分市による支援、補助、助成等があまり周知されていないような気がする。当団体を始め、各団体とも活動、発表のための資金確保に苦慮している。大分市としての支援の充実をお願いしたい。
- 大分県傘川柳連合会では、これまで会長が別府ということもあり、別府での大会を行ってきたが、現在の会長は大分市出身。従って大分市内でも各種行事を、今後実施したいと考えています。どうか今後ともよろしく応援頂きますようお願い申し上げます。
- 中心部以外にもドラム演奏できるスタジオがほしい。フリードラムのような街中でたたけるドラムがあるとよい。消音ドラムでもよい。ギター弾き語りのようなスタイルで演奏する場は多いが、ドラムを気軽に演奏できる場はまだまだ少ないので、一般の人にも触れる機会を多く作れるとよいと思う。高度な知識なく演奏可能な楽器か打楽器なので、療育や教育の場にももっと打楽器を気軽に体験できる場を作ってほしい。年齢にかかわらず、自己表現、リフレッシュの方法の一つになる。
- 美術系のイベントパフォーマンスを企画した際、ホールにより誓約が異なり、企画変更せざるを得なくなりました。できれば統一して頂きたいのと、それが可能でなければ、予め文書などで通達してもらえると助かります。
- 本組織の大分支部の展示会を毎年実施しているが、市の補助金を受けられるとありがたい。毎年4月に開催しているが、この時期は対象外になるようで、年間どの時期でも補助金申請ができるとうい。
- 毎月ホルトホール、1回、コンパルホール2回以上お借りしています。今後ともよろしくお願い致します。
- 毎週いつでも本物のアートに触れられる環境になったら嬉しいです。東京や大阪に負けない文化的な大分になるように、そして才能あふれる若者が、大分でもっと活躍できるようになったらと思っています。
- 毎年、1度のミュージカル公演等を開催していますが、そのような中、弊社秋月計器(有)が多額の協賛金を出費している状況です。できるだけ長く文化芸術に寄与できるようにと願っていますが、大分市からの補助金を受給できれば大変ありがたいです。
- 民間団体の活動、発表の場などの報道が増えると、足を運ぶ機会も増え、芸術等に対する興味も増すと思います。
- 植田公民館で、子どもを対象とした「お話どんどん」の会を、毎年10回ほど楽しくさせて頂いております。参加者は会員以外の方もおられ長く続いて楽しんでます。